

令和 7 年度小児筋電義手専門職養成研修会の実施報告

支援機器イノベーション情報・支援室

令和7年11月28日(金)、当センターにて「令和7年度小児筋電義手専門職養成研修会」を開催しました。この研修会は、全国の先天性上肢形成不全により義手を必要とする子どもたちに筋電義手を普及させることを目的に、当センターの義肢装具士や作業療法士等の各専門職が中心となって開催している研修会で、今年度で5回目の開催となりました。

内容は、筋電義手の総論や基本操作、当センターでの訓練内容や事例を講義形式で学ぶ座学と、実際に模擬義手を操作したり、訓練に使用している玩具等を体験する実技形式の訓練実習の2部構成となっており、全国各地から12名(作業療法士5名、義肢装具士4名、医師1名、理学療法士2名)の方々にご参加いただきました。



訓練実習(模擬義手操作)

模擬義手を使用して、積み木を積み上げる体験

訓練実習(玩具体験)

訓練に使用している玩具の
操作体験



終了後のアンケートでは、「実習が多くわかりやすかった」、「わかりやすくとてもためになった」といった感想のほか、「子どもたちが成人してからスムーズに筋電義手が支給できるように何らかの取り組みをしていきたい」といった声もいただきました。

制度の周知が十分に行き届き、筋電義手の訓練や製作の地域差の解消が進むことで、筋電義手を必要とする子どもたちが日本全国どの地域でも筋電義手の支給を受けられることを願っています。来年度以降も、情報発信・情報交換の場として研修会の開催を継続していく予定ですので、多くの方々の積極的なご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、今年度の研修会の開催にご協力をいただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。